

Akajata Mayo 29, 2012

国際貧者映画祭実行委員長
のキューバ人映画監督

ひと

レスター・ハムレット さん (41)



め来日しました。

何十億円もかけた大作映画
が注目される中、あえて低予算
の映画作りを提唱する映画
祭があります。毎年、キュー
バ東部オルギン県で開催される
国際貧者映画祭です。第10回
となる今年、実行委員長の重
責を務め、キューバ映画上映
会（5月上旬・セルバンテス
文化センター東京主催）のた

「企業のもうけにはならな
いが、現代性のあるテーマ、
身近な問題を扱う映画づくり
を実現しようと始まったのが
この運動です」
創設者はキューバ映画界の
重鎮ウンベルト・ソラス監
督。「彼の作品がその後の私
たちにとって模範となりまし

た。本当に少ない資金で、か
つてと同じか、よりすばらし
い水準のストーリーを描いて
いたことに感動しました」。
ソラス監督没後、実行委員長
を務めることになりました。
今年90カ国以上の参加で
成功。「世界的な経済危機が
あり、映画制作も大変な中
で、創作活動としてどんな代
案があるのかを示すことがで
きた」と胸を張りました。

自身の監督作品「カサ・ビ
エハ（古きわが家）」（201
0年）は、久しぶりにスペイ
ンから戻った同性愛者の主人
公が家族と再会する物語。せ
りふ一つひとつに深い意味が
込められ、家族愛や同性愛差
別などを深く考えさせます。

「映画作りで私をかき立て
るテーマは愛」映画は、社会
を発展させ、より人間的に道
徳的になるための重要な道具
なんですよ」

文・写真 菅原 啓